

「求職登録者に対する意識調査」

報 告 書

社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会
宮 崎 県 福 祉 人 材 セ ン タ ー

目 次

I	調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	求職登録者に対する意識調査結果・・・・・・・・	2
	『基本状況』	
問 1.	性別について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
問 2.	年齢について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
問 3.	最終学歴について・・・・・・・・・・・・	3
問 4.	現在の仕事状況について・・・・・・・・	3
問 5.	勤務経験について・・・・・・・・・・・・	4
問 6.	希望する仕事分野について・・・・・・	4
問 7.	希望する雇用形態について・・・・・・	5
問 8.	取得している資格について・・・・・・	6
	『福祉の仕事に対する考え方』	
問 9.	興味を持つようになった時期について	7
問 10.	就職を決心した時期について	7
問 11.	仕事に興味を持つようになったきっかけについて	8
問 12.	福祉の仕事への印象について	9
	(1) 仕事の魅力について	9
	(2) ボランティア精神について	10
	(3) 専門知識・技術について	10
	(4) 賃金の印象について	11
	(5) 職場の安定性について	11
	(6) 労働環境について	12
	『就職活動に対する意識』	
問 13.	最優先することについて	12
問 14.	妥協できることについて	13
問 15.	評価してほしいことについて	13
問 16.	困っていることについて	14
問 17.	取得したい資格について	15
問 18.	就労後の継続性について	16
	『福祉人材センターの利用』	
問 19.	センターを知ったきっかけについて	17
問 20.	ホームページについて	18
問 21.	センター以外に利用している機関・方法について	19
	ご意見・ご要望・・・・・・・・・・・・・・・・	20
	調査票・・・・・・・・・・・・・・・・	24

I 調査の概要

調査目的

増大多様化する福祉ニーズに応じていくために、より質の高いサービスを提供できる人材が今日求められている。とりわけ、利用者への直接的なサービス提供の中核を担う介護職員については、その労働力の安定的な確保が社会的な課題となりつつあり、福祉人材センターにも介護事業者から多くの求人が寄せられている。

そこで、福祉分野へ就労を希望する求職者の考え方・ニーズを把握し、能力開発の方策を研究するとともに、福祉・介護の職場が質の高い人材の確保が出来るように、無料職業紹介事業の一層の充実を図ることを目的に実施する。

実施主体 : 社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会
宮 崎 県 福 祉 人 材 セ ン タ ー

調査期間 : 平成 18 年 4 月 4 日～8 月 3 1 日

調査票回収期限 : 平成 18 年 8 月 3 1 日

調査方法

別紙調査票の郵送並びに窓口配付によるアンケート調査

- ① 福祉人材センターから調査票を各求職登録者に郵送する。
- ② 平成 18 年 4 月 4 日～8 月 3 1 日の期間に求職登録された方に窓口で配付する。
- ③ 福祉人材センターは調査票を回収し、全数集計する
- ④ 福祉人材センターは集計結果を分析し、報告書を作成する。

回収状況

回 収 率	:	4 1 . 1 %
対 象 者	:	8 5 9 名
有効回収数	:	3 5 3 名

II 求職登録者に対する意識調査結果

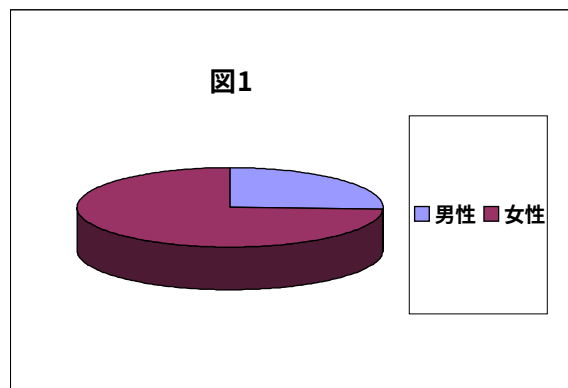
『基本的状況』

【問 1】 性別について

回答者の性別については、表1・図1のとおり、「男性」が25.8%、「女性」が74.2%であった。ほぼ男性が女性の4分の1といった割合である。

表1

	性別	計	構成比 (%)
1	男性	91	25.8%
2	女性	262	74.2%
回答総数		353	100%

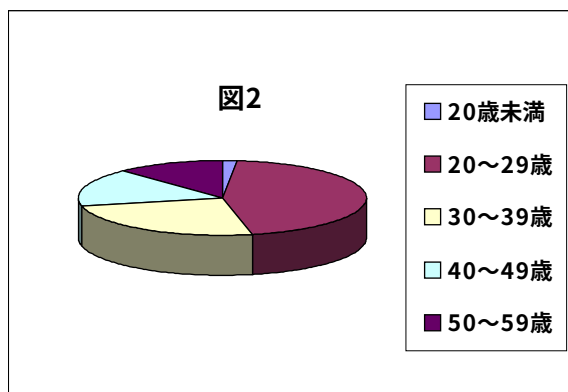


【問 2】 年齢について

年齢については、表2・図2のとおり、「20～29歳」が44.5%、次いで「30～39歳」が24.4%、「40～49歳」が16.1%であった。年代が若いほど登録者が多く、40歳未満で全体の7割以上を占めている。

表2

	年齢別	計	構成比 (%)
1	20歳未満	6	1.7%
2	20～29歳	157	44.5%
3	30～39歳	86	24.4%
4	40～49歳	57	16.1%
5	50～59歳	43	12.2%
6	60歳以上	4	1.1%
回答総数		353	100%



【問 3】 最終学歴について

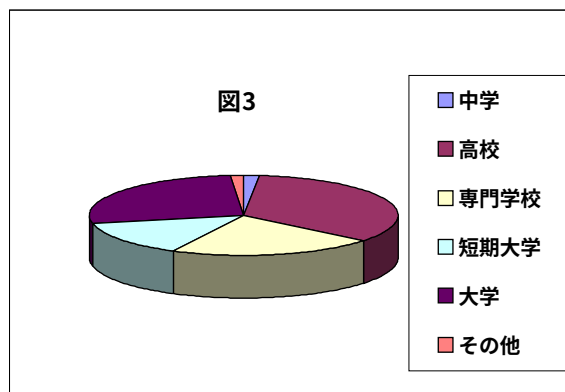
最終学歴について尋ねたところ、回答は表3・図3のとおり、「高校」卒業者が34.3%で最も多く、以下「大学」卒業者が27.1%、「専門学校」卒業者が21.5%であった。

表3

最終学歴		計	構成比 (%)
1	中学	6	1.7%
2	高校	124	34.3%
3	専門学校	78	21.5%
4	短期大学	51	14.1%
5	大学	98	27.1%
6	その他	5	1.4%
回答総数		362	100%

※ 「その他」の最終学歴

- 大学卒業見込み
- 通信制4年

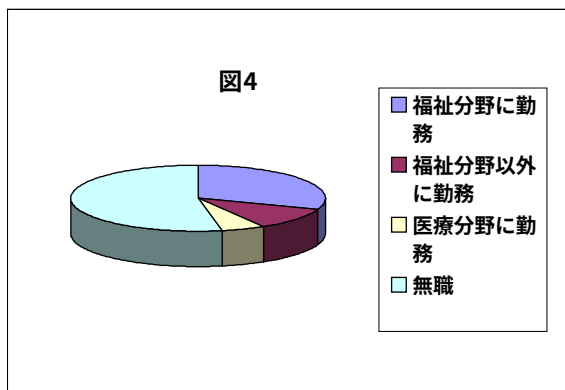


【問 4】 現在の仕事状況について

現在働いているかどうかを尋ねたところ、表4・図4のとおり、「福祉分野に勤務している」が30.7%「福祉以外に勤務している」が10.7%であった。また、「勤務していない」が53%であり、回答者の約半数が無職であると窺える。

表4

就労状況		計	構成比 (%)
1	福祉分野に勤務	103	30.7%
2	福祉分野以外に勤務	36	10.7%
3	医療分野に勤務	19	5.7%
4	無職	178	53.0%
回答総数		336	100%

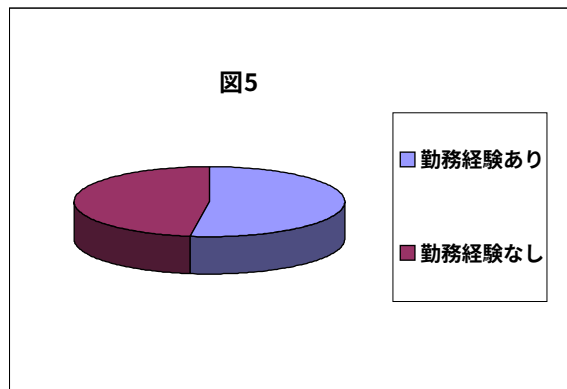


【問 5】 福祉分野での勤務経験について

福祉の職場で働いたことがあるかどうかを尋ねたところ、結果は表5・図5のとおり、「勤務経験あり」が52.3%となっており、回答者の約半数は福祉の職場で働いたことがあることがわかる。

表5

勤務経験		計	構成比 (%)
1	勤務経験あり	179	52.3%
2	勤務経験なし	163	47.7%
回答総数		342	100%

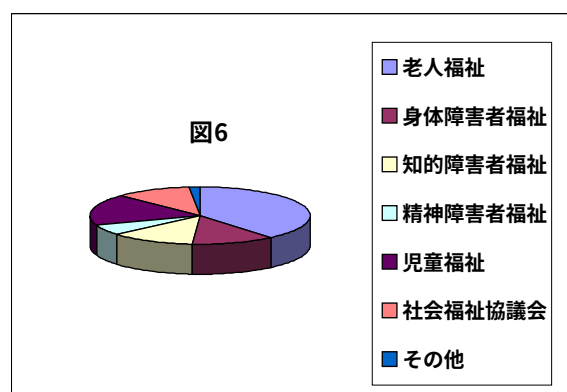


【問 6】 希望される仕事分野について

求職登録者がどの社会福祉分野に就職したいかを尋ねたところ、結果は表6・図6のとおり「老人福祉」を希望するが38.9%と最も多く、全体の約4割を占めている。次に多かった分野は「児童福祉」で17.6%、「知的障害者福祉」を希望する者は12.4%であった。

表6

仕事分野		計	構成比 (%)
1	老人福祉	223	38.9%
2	身体障害者福祉	70	12.2%
3	知的障害者福祉	71	12.4%
4	精神障害者福祉	34	5.9%
5	児童福祉	101	17.6%
6	社会福祉協議会	64	11.2%
7	その他	10	1.7%
回答総数		573	100%



※ 「その他」の希望する分野

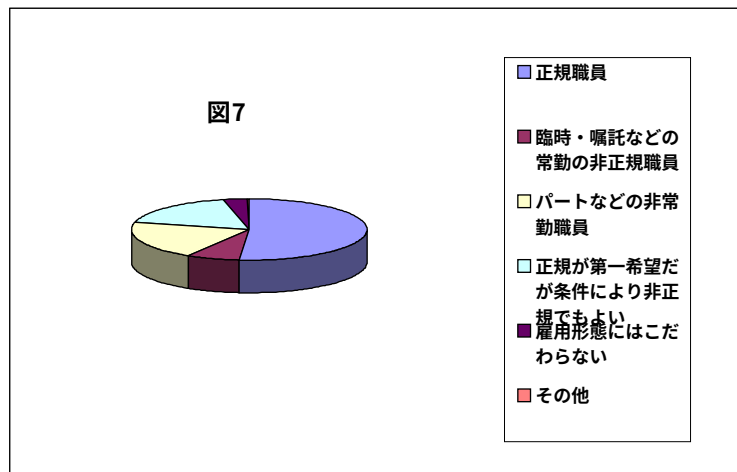
- 在宅ヘルパー
- 医療機関

【問 7】 希望される雇用形態について

希望する雇用形態について尋ねたところ、表7・図7のとおり、51.3%の回答者が「正規職員」を希望している。また、「正規が第一希望だが条件により非正規でもよい」が17.7%であった。「正規職員」を第一希望とする回答者は全体の約8割を占めている。

表7

希望する雇用形態		計	構成比 (%)
1	正規職員	191	51.3%
2	臨時・委託などの常勤の非正規職員	27	7.3%
3	パートなどの非常勤職員	75	20.2%
4	正規が第一希望だが条件により非正規でもよい	66	17.7%
5	雇用形態にはこだわらない	12	3.2%
6	その他	1	0.3%
回答総数		372	100%



【問 8】 福祉関連で取得している資格について

現在持っている福祉関係資格について尋ねたところ、表8・図8のとおり、回答者の約3割が「ホームヘルパー2級」の資格を有している。次いで「社会福祉主事任用資格」12.1%、「保育士」が8.1%となっている。国家資格の「介護福祉士」は12.1%、「社会福祉士」は2.6%、「精神保健福祉士」は1.4%と全体から比較すると少ない事が窺える。また、全く資格を持ってない無資格者は5.9%であった。

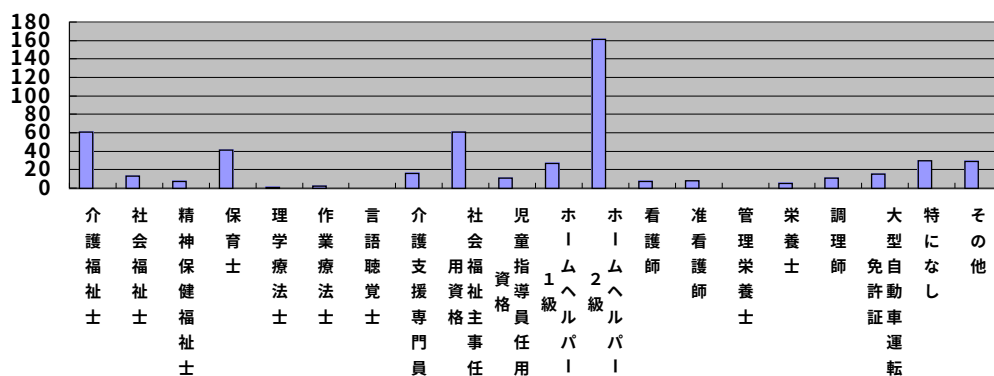
表8

取得資格	計	構成比 (%)
1 介護福祉士	61	12.1%
2 社会福祉士	13	2.6%
3 精神保健福祉士	7	1.4%
4 保育士	41	8.1%
5 理学療法士	1	0.2%
6 作業療法士	2	0.4%
7 言語聴覚士	0	0.0%
8 介護支援専門員	16	3.2%
9 社会福祉主事任用資格	61	12.1%
10 児童指導員任用資格	11	2.2%
11 ホームヘルパー1級	27	5.3%
12 ホームヘルパー2級	161	31.8%
13 看護師	7	1.4%
14 准看護師	8	1.6%
15 管理栄養士	0	0.0%
16 栄養士	5	1.0%
17 調理師	11	2.2%
18 大型自動車運転免許証	15	3.0%
19 特になし	30	5.9%
20 その他	29	5.7%
回答総数	506	100%

※ 「その他」の取得資格

- ガイドヘルパー
- 歯科衛生士
- 福祉住環境コーディネーター
- 教員免許
- 社会福祉士国家受験資格
- 医療事務
- 介護食士
- 手話通訳登録試験
- 視覚障害者ガイドヘルパー

図8



『福祉の仕事に対する考え方』

【問 9】 福祉に興味を持った時期について

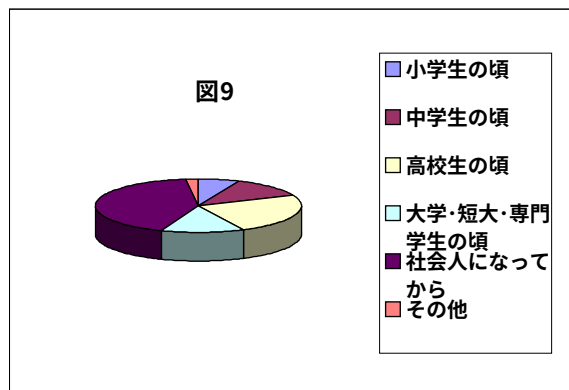
福祉に興味を持った時期について尋ねたところ表9・図9のとおり、「社会人になってから」とする者が42.2%と、全体の約4割近くであった。以下「高校生の頃」が24.1%、「中学生の頃」が12.2%、「大学・短大・専門学生の頃」が13.1%であった。

表9

	興味を持った時期	計	構成比 (%)
1	小学生の頃	22	6.4%
2	中学生の頃	42	12.2%
3	高校生の頃	83	24.1%
4	大学・短大・専門学生の頃	45	13.1%
5	社会人になってから	145	42.2%
6	その他	7	2.0%
	回答総数	344	100%

※ 「その他」の興味を持ったのは

- 5年前から
- ヘルパー2級を取得してから



【問10】 福祉の仕事に就職したいと決心した時期について

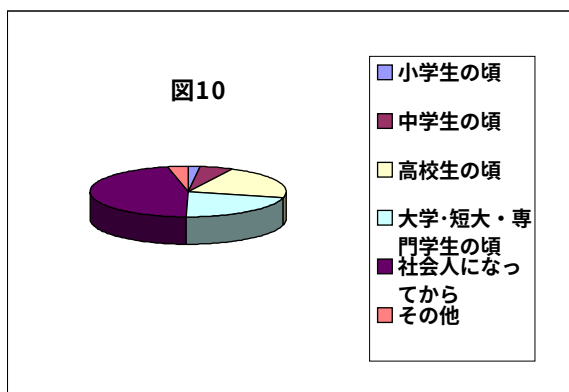
福祉の職場に就職を決めた時期について尋ねたところ、表10・図10のよおり、「社会人になってから」が46.6%と圧倒的に多く、全体の約5割を占めている。

表10

	就職したいと決心した時期	計	構成比 (%)
1	小学生の頃	7	2.1%
2	中学生の頃	18	5.3%
3	高校生の頃	73	21.5%
4	大学・短大・専門学生の頃	72	21.2%
6	社会人になってから	158	46.6%
7	その他	11	3.2%
	回答総数	339	100%

※ 「その他」の決心した時期

- 高齢社会となってから
- 5年前から
- 育児後の再就職のため
- ヘルパー2級を取得してから
- ヘルパーの資格取得中
- 両親の介護に携わってから
- 退職後



【問11】 福祉の仕事に興味を持つことになったきっかけについて

福祉に興味を持ったきっかけについて尋ねたところ表11・図11のとおり、「お年寄りや障害を持つ方が身近にいたこと」が35.0%、以下「ボランティア活動に参加したこと」が19.3%、「福祉活動をしている家族や友人がいたこと」13.1%であった。

表11

仕事へ興味を持ったきっかけ	計	構成比 (%)
1 お年寄りや障害を持つ方が身近にいたこと	160	35.0%
2 自分自身が病気等の経験をしたこと	19	4.2%
3 福祉活動をしている家族や友人がいたこと	60	13.1%
4 ボランティア活動に参加したこと	88	19.3%
5 学校での授業や講習会等で聞いたこと	55	12.0%
6 新聞やテレビ、雑誌等で見たり聞いたりしたこと	55	12.0%
7 その他	20	4.4%
回答総数	457	100%

※「その他」の興味を持ったきっかけ

●保育士の勉強をしたとき

●生活のため

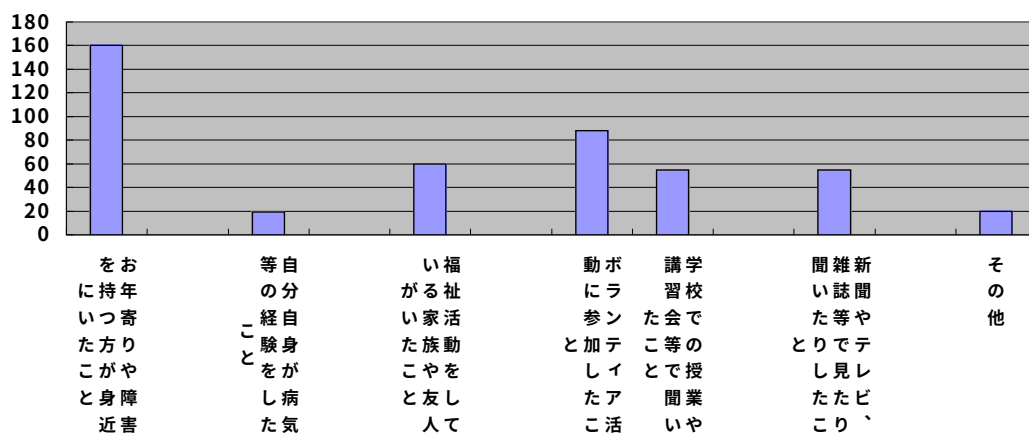
●ヘルパー実習中 2人

●病院に勤めていたので福祉に興味を持った。

●児童自立支援施設に勤務してから

●人の役に立つ仕事だから

図11



【問12】 福祉の仕事への印象について

〈1〉 他の仕事にくらべて、福祉の仕事の魅力について

福祉の仕事の魅力について尋ねたところ表12-1・図12-1のとおり、「他の仕事に比べ、仕事の内容に魅力がある」が76.2%、全体の約8割を占めている。しかし一方で、「他の仕事との違いは感じない」が10.2%と、全体の1割は福祉の仕事と他の仕事の違いを感じていないことも窺える。

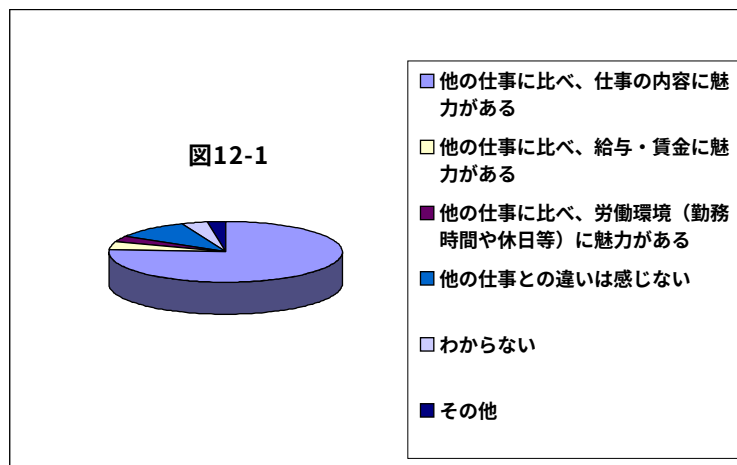
表12-1

	福祉の仕事の魅力は	計	構成比 (%)
1	他の仕事に比べ、仕事の内容に魅力がある	276	76.2%
2	他の仕事に比べ、給与・賃金に魅力がある	16	4.4%
3	他の仕事に比べ、労働環境（勤務時間や休日等）に魅力がある	11	3.0%
4	他の仕事との違いは感じない	37	10.2%
5	わからない	13	3.6%
6	その他	9	2.5%
	回答総数	362	100%

※ 「その他」の仕事の魅力

●福祉という定義付けが今ひとつ理解できない。幸せの為の行為が全て「福祉」とどこかの辞書に載っていた。どの職についてもどれも大変で責任をとる。4と5が私の気持ちに近い。

●人間相手の仕事なので他の仕事では味わえない魅力がある。

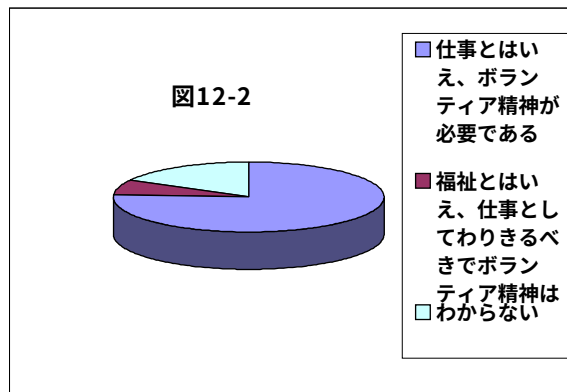


〈2〉福祉の仕事とボランティア精神について

ボランティア精神について尋ねたところ表12-2・図12-2のとおり、「仕事とはいえボランティア精神が必要である」が76.2%となっており、全体の約8割近くを占めている。

表12-2

ボランティア精神		計	構成比 (%)
1	仕事とはいえ、ボランティア精神が必要である	260	76.2%
2	福祉とはいえ、仕事としてわりきるべきでボランティア精神は重要でない	23	6.7%
3	わからない	58	17.0%
回答総数		341	100%

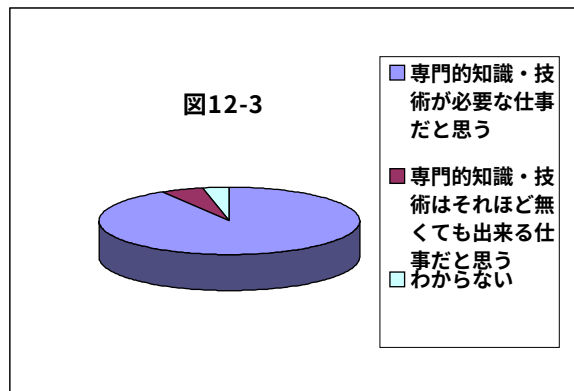


〈3〉福祉の仕事と専門知識・技術について

専門的知識・技術について尋ねたところ表12-3・図12-3のとおり、全体の91.5%の者が「専門的知識・技術が必要な仕事だと思う」と考えている。

表12-3

福祉の仕事と専門的知識・技術		計	構成比 (%)
1	専門的知識・技術が必要な仕事だと思う	311	91.5%
2	専門的知識・技術はそれほど無くても出来る仕事だと思う	18	5.3%
3	わからない	11	3.2%
回答総数		340	100%

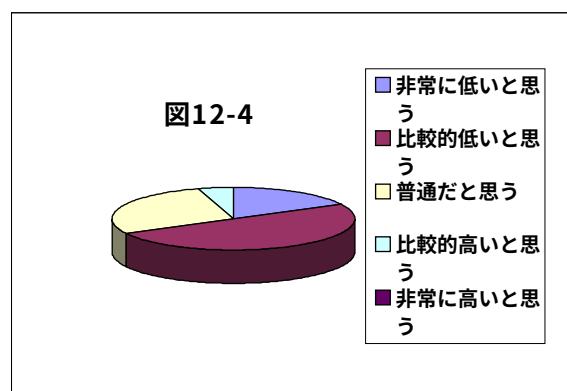


〈4〉福祉の職場の賃金の印象について

賃金について尋ねたところ表12-4・図12-4のとおり、「比較的低いと思う」が49.6%、「非常に低いと思う」が17.6%となっており、「低い」と思う割合が67.2%と全体の約7割を占めていることが窺える。一方で、「高い」と思う割合は「比較的高いと思う」が4.8%、「非常に高いと思う」と回答した者が0%で、5%にも満たない。

表12-4

賃金の印象		計	構成比 (%)
1	非常に低いと思う	59	17.6%
2	比較的低いと思う	166	49.6%
3	普通だと思う	94	28.1%
4	比較的高いと思う	16	4.8%
5	非常に高いと思う	0	0.0%
回答総数		335	100%

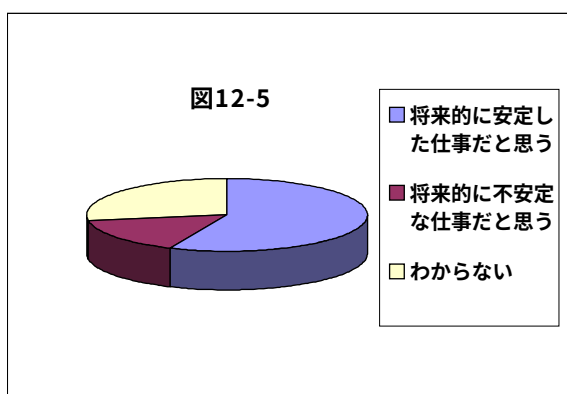


〈5〉福祉の職場における職業の安定性について

職業の安定性について尋ねたところ表12-5・図12-5のとおり、「将来的に安定した仕事だと思う」者が56.8%、「将来的に不安定な仕事だと思う」が15.7%であった。また、「わからない」が27.5%であり、判断に迷う者が多いようである。

表12-5

福祉職場の安定性		計	構成比 (%)
1	将来的に安定した仕事だと思う	192	56.8%
2	将来的に不安定な仕事だと思う	53	15.7%
3	わからない	93	27.5%
回答総数		338	100%

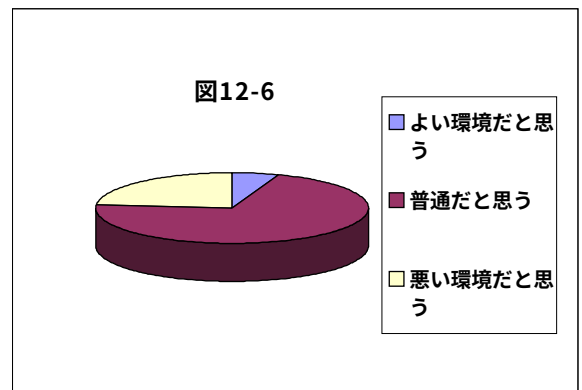


〈6〉休日や時間外勤務等の労働環境について

休日や時間外などの労働環境について尋ねたところ 表12-6・図12-6のとおり、「普通だと思う」が70.8%、「悪い環境だと思う」が23.7%であった。「よい環境だと思う」が全体の1割にも満たず、5.5%であった。

表12-6

労働環境		計	構成比 (%)
1	よい環境だと思う	18	5.5%
2	普通だと思う	230	70.8%
3	悪い環境だと思う	77	23.7%
回答総数		325	100%



『就職活動に対する意識』

【問13】 就職先を選ぶうえで、最優先することについて

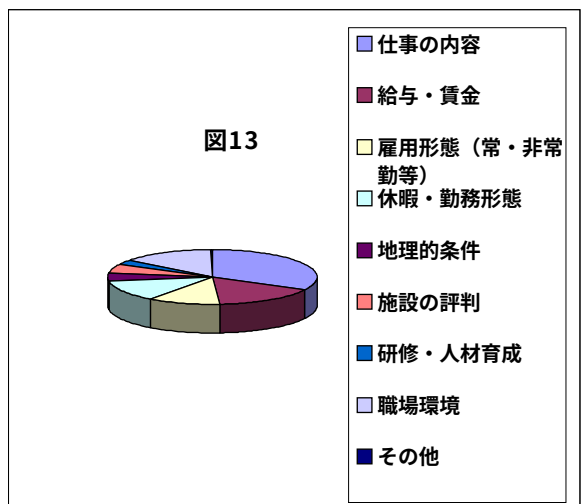
就職先を選ぶ上で優先することについて尋ねたところ表13・図13のとおり、「仕事の内容」を最優先にする割合が最も高く、32.9%であった。次いで、「給与・賃金」が16.0%、「職場環境」が14.2%となっている。給与の金額より、仕事の内容を重視する傾向が強いことが窺える。

表13

就職先		計	構成比 (%)
1	仕事の内容	179	32.9%
2	給与・賃金	87	16.0%
3	雇用形態（常・非常勤等）	61	11.2%
4	休暇・勤務形態	68	12.5%
5	地理的条件	25	4.6%
6	施設の評判	30	5.5%
7	研修・人材育成	15	2.8%
8	職場環境	77	14.2%
9	その他	2	0.4%
回答総数		544	100%

※ 「その他」の最優先すること

- 社会保障



【問14】 就職先を選ぶうえで、妥協できることについて

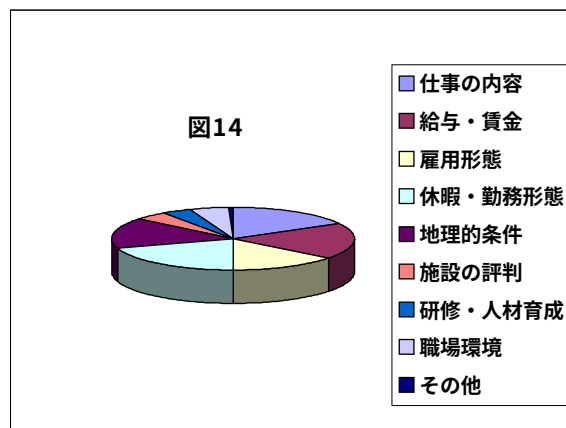
就職先を選ぶ上で妥協できることについて尋ねたところ、「休暇・勤務形態」が19.9%と最も多く、以下「給与・賃金」が18.7%、「仕事の内容」が17.0%であった。

表14

就職時に妥協できること		合計	構成比 (%)
1	仕事の内容	70	17.0%
2	給与・賃金	77	18.7%
3	雇用形態	59	14.3%
4	休暇・勤務形態	82	19.9%
5	地理的条件	66	16.0%
6	施設の評判	18	4.4%
7	研修・人材育成	16	3.9%
8	職場環境	22	5.3%
10	その他	2	0.5%
回答総数		412	100%

※ 「その他」の妥協できること

● 真心

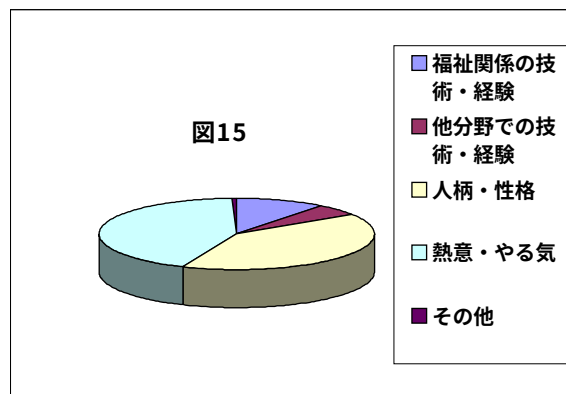


【問15】 自分を最も評価してもらいたいことについて

求人側に評価してもらいたい点について尋ねたところ表15・図15のとおり、「熱意・やる気」が最も多く、次いで「人柄・性格」が40.6%であった。このことから、求職登録者は「福祉関係の技術・経験」よりも自分自身を評価してもらおうことを望んでいることが窺える。

表15

最も評価してほしいこと		合計	構成比 (%)
1	福祉関係の技術・経験	42	10.7%
2	他分野での技術・経験	20	5.1%
3	人柄・性格	160	40.6%
4	熱意・やる気	170	43.1%
5	その他	2	0.5%
回答総数		394	100%



【問16】 就職活動で困っていることについて

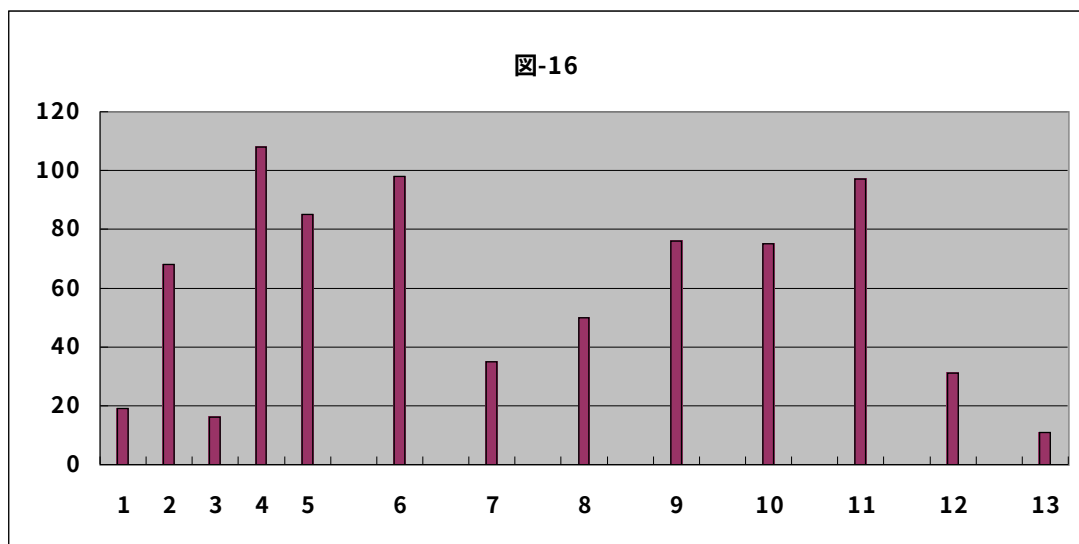
就職活動にあたり困っている点について尋ねたところ、表16・図16のとおり、「資格により制限がある」が14.0%、以下「希望の雇用形態（常勤・非常勤）が少ない」が12.7%、「公表されている求人数が少ない」が12.6%の順であった。

表16

就職活動で困っていること		合計	構成比 (%)
1	性別に制限がある	19	2.5%
2	年齢制限がある	68	8.8%
3	学歴により制限がある	16	2.1%
4	資格により制限がある	108	14.0%
5	希望に見合う賃金条件が少ない	85	11.1%
6	希望の雇用形態（常勤・非常勤）が少ない	98	12.7%
7	雇用期間が定められている	35	4.6%
8	勤務先が地理的に遠いものが多い	50	6.5%
9	休日や勤務形態が希望に合わない	76	9.9%
10	資格の有無に関わらず福祉の経験不足	75	9.8%
11	公表されている求人数が少ない	97	12.6%
12	現在就業中のため就職活動する時間がない	31	4.0%
13	その他	11	1.4%
回答総数		769	100%

※ 「その他」の困っていること

- 母子家庭ということで敬遠される
- 転勤族のため雇用期間が定められているものしか働けない



【問17】 今後の福祉職場への就職に向け、取得したいと思う資格について

今後の福祉職場の就職に向けて取得したい資格について尋ねたところ表17・図17のとおり、「介護福祉士」が全体の2割以上を占め、次いで「社会福祉士」が16.7%、「介護支援専門員」が16.4%であった。

表17

取得したい資格について	合計	構成比 (%)
1 介護福祉士	126	21.7%
2 社会福祉士	97	16.7%
3 精神保健福祉士	24	4.1%
4 保育士	32	5.5%
5 介護支援専門員	95	16.4%
6 社会福祉主事	34	5.9%
7 児童指導員	32	5.5%
8 ホームヘルパー1級	32	5.5%
9 ホームヘルパー2級	36	6.2%
10 1～9以外の資格	28	4.8%
11 既に取得している資格を活かしたいため、特に新しい資格は目指してない	39	6.7%
12 取得している資格は特にないが、今後取得を目指す資格も特にない	2	0.3%
13 その他	3	0.5%
回答総数	580	100%

「10」の資格

●ケアマネジャー

●福祉住環境コーディネーター

●看護師

●精神保健福祉士

●老人心理

●准看護師

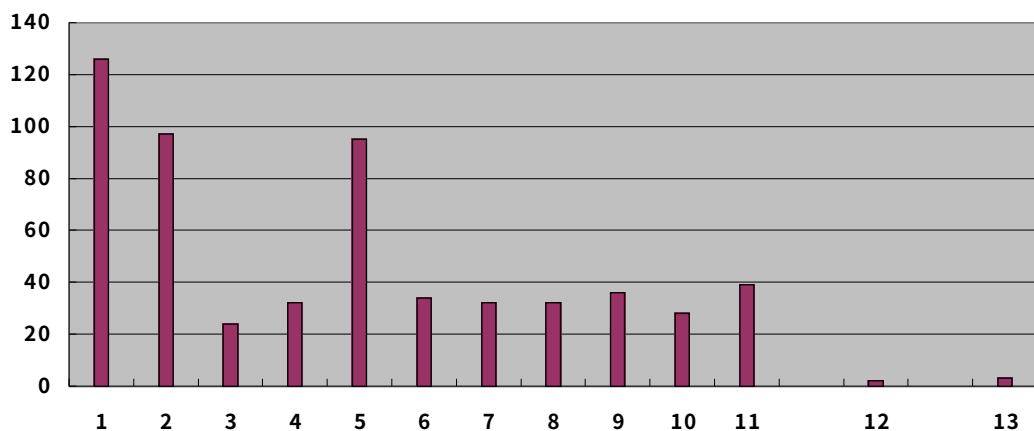
●レクリエーションワーカー

●その時の状況でとれるものが

「その他」のご意見

●今は様々な福祉分野での経験を積み、いずれは自分なりに納得できる仕事につきたい。

図-17



【問18】 福祉の職場へ就労後の継続性について

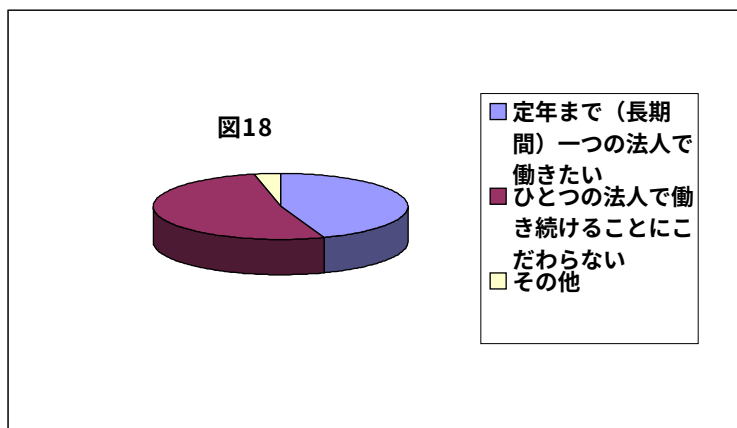
福祉職場へ就労後の継続性について尋ねたところ 表18・図18のとおり「ひとつの法人で働き続けることにこだわらない」が52.3%であり、「定年まで（長期間）一つの法人で働きたい」の44.5%を若干上回る回答であった。

表18

就労後の継続性		合計	構成比 (%)
1	定年まで（長期間）一つの法人で働きたい	153	44.5%
2	ひとつの法人で働き続けることにこだわらない	180	52.3%
3	その他	11	3.2%
回答総数		344	100%

※ 「その他」の継続性

- 自分で施設を作りたい
- 育児休暇
- 介護休暇等取得できるとよい
- 自分の体が続くかぎりボランティアに携わりたい



『福祉人材センターの利用』

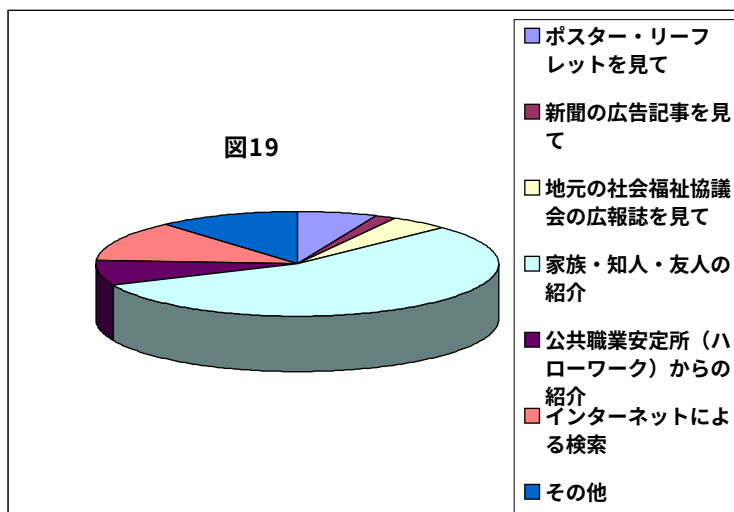
【問19】 福祉人材センターを知ったきっかけについて

人材センターを知ったきっかけについて尋ねたところ表19・図19のとおり、「家族・知人・友人の紹介」が55.6%、以下「インターネットによる検索」が12.4%、「公共職業安定所（ハローワーク）からの紹介」が7.8%であった。

表19

福祉人材センターを知ったのは	合計	構成比 (%)
1 ポスター・リーフレットを見て	22	6.3%
2 新聞の広告記事を見て	6	1.7%
3 地元の社会福祉協議会の広報誌を見て	16	4.6%
4 家族・知人・友人の紹介	193	55.6%
5 公共職業安定所（ハローワーク）からの紹介	27	7.8%
6 インターネットによる検索	43	12.4%
7 その他	40	11.5%
回答総数	347	100%

- ※
- 以前利用したことがある
 - 5年前求職中に県社会福祉協議会に足を運んだらあった
 - 電話をして
 - 介護労働安定センター
 - 「らびあ」
 - 学校からの紹介
 - 就職説明会に参加して
 - 受講を受けたセンターで
 - 以前利用したことがあるので
 - ヘルパー取得時に専門学校で聞いた
 - ニチイに通っていて知る
 - 学校で



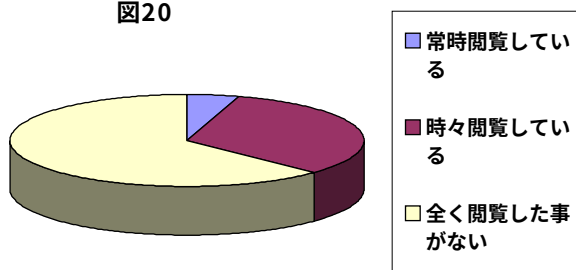
【問20】 福祉人材センターのホームページについて

人材センターのホームページについては表20・図20のとおり、「全く閲覧した事がない」が62.9%、「時々閲覧している」が32.5%、「常時閲覧している」が4.7%であった。閲覧をしたことがない者は全体の6割以上いる結果であった。

表20

福祉人材センターのホームページについて		合計	構成比 (%)
1	常時閲覧している	16	4.7%
2	時々閲覧している	111	32.5%
3	全く閲覧した事がない	215	62.9%
回答総数		342	100%

図20



【問21】 福祉人材センターを利用する以外に行っている就職活動について

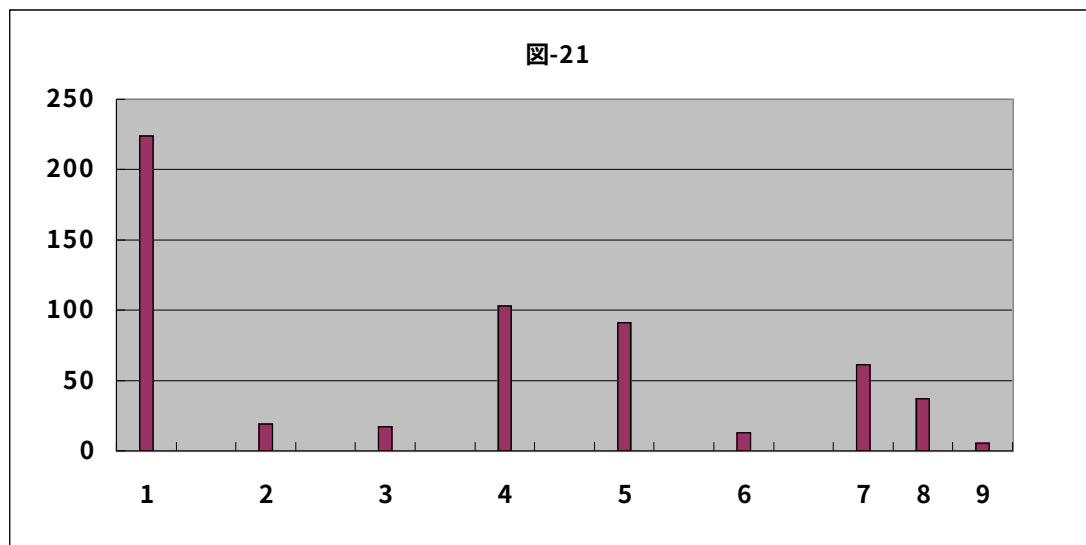
福祉人材センターを利用する以外に行っている就職活動について尋ねたところ表 21・図 21のとおり、「公共職業安定所（ハローワーク）を利用している」が39.3%、と全体の4割近くを占めた。以下「インターネットにより情報収集している」が18.1%、ついで「情報誌（市町村行政広報誌・新聞・折込広告等）により情報を収集している」となっている。

表21

ほかにしている就職活動		合計	構成比 (%)
1	公共職業安定所（ハローワーク）を利用している	224	39.3%
2	他の都道府県福祉人材センターを利用している	19	3.3%
3	ハローワーク、人材センター以外の有料・無料職業紹介所を利用している	17	3.0%
4	インターネットにより情報収集している	103	18.1%
5	情報誌（市町村行政広報誌・新聞・折込広告等）により情報を収集している	91	16.0%
6	電話や訪問にて直接問い合わせしている	13	2.3%
7	家族・知人・友人に依頼している	61	10.7%
8	他に特に利用していない	37	6.5%
9	その他	5	0.9%
回答総数		570	100%

※ 「その他」の就職活動

● うわさや評判等の情報収集



【問 22】 福祉人材センターに対する意見・要望について

- (1) 宮崎市以外にも人材センターをつくってほしいです。施設のパンフとかみたいです。
- (2) 福祉の仕事の応募がある場合、手紙などで情報を届けて頂けるといいと思います。
- (3) いつも求人情報を送っていただきありがとうございます。就職に向けて努力していきたいと思っています。
- (4) 最近初めて知った。とても助かるが、資格がないため就職もないのも現実である。
- (5) とても親切に対応して頂いて安心した。
- (6) 対応が良かったです。
- (7) 何回か紹介をいただきましたが、なかなか就職することが出来ません。今後とも宜しくお願い致します。
- (8) もっとこまめにいろんな情報を提供して欲しい。求人だけでなく資格取得に関する情報も提供して欲しい。
- (9) いつも親切、丁寧に対応していただきとても感謝しております。
- (10) 現在就業中のため、平日に休暇がない限り利用ができず、また、パソコンを持ってないのでインターネットもできず、利用したい時にすぐ利用できないというのが現状です。地理的にもなかなか行くことが困難です。月に一度でも、日曜日に利用できればありがたいのですが…それも難しいと思うので、利用の仕方に困ってます。
- (11) 医療事務を希望したため、求人数が少ないにも関わらず丁寧に対応していただきありがとうございました。就職先が決まりましたのでご報告致します。大変お世話になりました。
- (12) 福祉分野の中でも、種々の職種によって経験や知識が問われるので、もっと採用に際しての詳細な条件提示があっても良いと思う。
- (13) 初めて行った時、少し入りづらかった。
- (14) 何回か行きましたが、その都度親切に対応していただきました。
- (15) いつも利用させてもらってます。正規で勤めたい為、臨時かパートが多くて、正規がなかなかなくて、何回も人材センターの方達には求人票を送ってもらっているのですが、とても申し訳ない気持ちでいっぱいです。でも就業中の傍ら、仕事を探しているのですがとてもありがたく思ってます。これからもお世話になります。
- (16) 初めての利用で、よく分からない点もあるのですが、福祉に関する職場を斡旋する機関があることを知り驚いています。自身に合う職場はなかなか見つからないかもしれませんが、夢を失わないでいきたい。
- (17) 遠方なためなかなか登録に行くことが難しい。現在は半年間？継続可能だが、1年くらいになると便利だと思われる。
- (18) 福祉人材センターから紹介頂き福祉の仕事が出来た事がとても嬉しく思っております。福祉人材センター様有難うございました。これからもよろしくお願い致します。
- (19) 福祉人材無料職業紹介事業との事で何かと大変かと思いますが、私達求職登録者にはとても助かります。今後共宜しくお願い致します。

- (20) 廊下の掲示板等に求人用の紙を貼り出してあったらすごく便利だと思う。登録していない人でも気軽に見られるだろうし、もっと利用する人がいるかもしれない。
- (21) 資格を取得したいので、介護福祉士の資料が欲しいです。一般の人でも取れる資格を教えてください。色々な資格方法を、これからでも取れる資格！福祉についての質問（分からないこと）は人材センターにTELして聞きますので宜しくお願いします。皆さんお仕事ご苦労様です。お蔭様で、今は仕事に就いていて頑張って毎日を過ごしております。福祉の資格を取ることができ、仕事にも就いて皆様方のお陰です。ありがとうございます。
- (22) ハローワークのように、求人自己検索システム（パソコン）を何台か設置して欲しい。
- (23) 若い人ばかりでなく、人生経験豊富な人達も多くアピールして紹介してほしいと思っています。
- (24) 施設等での有給消化率とか人材育成（OJTなど）の取り組みなどの具体的な方針など、より詳しい情報が一目で閲覧できるようになると、自分の希望する施設の特徴が分かると思う。
- (25) なかなか福祉人材センターへ行けないので、もっと多くの情報を頂けると、選択の幅も広がり、活動しやすくなると思います。
- (26) センターの皆様はエキスパートでいらっしゃる、地域情報に精通されております。求職者の資格・技術を最大限に引き出せるよう協力頂いており、誠にありがたく思っております。
- (27) 就職が決まりましたが、前職場をやめてから一ヶ月もしない間に、現在の施設への就職が決まりました。本当に“感謝”してます。ありがとうございました。
- (28) 就職してからの資格取得では、と考える事があります。
- (29) “お役所仕事”っていう感じだなと思います。ハローワークのほうがまだまし。名札ぶら下げればいいってもんじゃないと思うけど…。もっと真剣に仕事して下さい。
- (30) 良いとも悪いとも、まだ利用して浅いので言えないが、仕事を探す上ではとても大切だと思います。福祉は今最も注目されている仕事ではないでしょうか。私はそう思っています。ますますの発展を願っています。
- (31) ハローワーク以外でも、無料で職業を紹介して下さる施設としてとてもありがたく思っています。これからもよろしくお願い致します。
- (32) 土・日曜日も業務を行って欲しい。休日しか時間がとれない！
- (33) 福祉人材センターのスタッフの方には、大変力になっていただいております。対応については大変満足しております。インターネットでの検索について、県北とか県中とか細かく地域を指定出来るようにして欲しい。求人票には書いても、内容が違ったりするので、施設には厳しく指導して欲しい。
- (34) もっと、いろいろな求人票を紹介してほしいです。あと、資格の取り方を教えて欲しいです。これからも求人票を送ってください。お願いします。
- (35) 登録有効期間が短い。求職登録、求人閲覧を土日でもできるようにしてほしい。

- (36) 本当に自分にあった条件の職場がない。私はホームヘルパー（２級）ですが、常勤の職場が無く、本当に悩んでいる。
- (37) ハローワークで出ている施設の求人のほうが多いが、どちらにも（人材センター）同じく求人を出してもらえると活動しやすい。
- (38) これからはインターネットも利用してみたいと思います。
- (39) 近場の福祉施設の情報が豊富だと良いと思います。
- (40) 求人の開示を、図書館のように自由に閲覧可能にするとか、自分のペースで見ることができて良い。
- (41) いつも求人情報をありがとうございます。
- (42) 沢山の情報が欲しい。月一回だけでなく、何度も求人情報を入れて欲しい。
- (43) お世話になりました。仕事が決まりましたので、今後求人票は必要ありませんので、止めて下さい。
- (44) 福祉に関するいろいろな分野の勉強会を開いていただけるとありがたいです。特に医療の分野のある程度の専門部門の勉強がしたい。
- (45) 常用正規採用の情報を教えて下さい。これからもよろしくお願いします。
- (46) もっと条件に合った職場を紹介してほしい。私は県北を希望ですのでお願いします。
- (47) 働きながら就職活動をする、休日が平日とは限らないので、土日も福祉人材センターを利用したいです。
- (48) 忙しいとインターネットを見られない事も多々あるので、何かイベントなどがある時は郵送して頂けると有り難いです。
- (49) まめに求人票を送付頂きありがとうございます。ハローワークにも置いて頂けるとありがたいです。また、各種の資格取得の講習も企画して頂きたい。
- (50) 仕事をしながら就職活動を行うことが（相手の面接担当者と連絡を取るための行動）難しい。できれば連絡を取りにくいという部分でフォローしていただけると大変助かるかと考えております。
- (51) 私はハローワークに行ってますが、職員の対応が悪く職業の相談もしたくない気分になります。その点、福祉人材センターの職員は対応も良く、サービスも良く初めてでも良いセンターだと思いました。少し場所が分かりづらいと思います。
- (52) 人材センターの紹介により面接したところ、採用が内定しました。本当にありがとうございます。
- (53) 法人と求職者（登録者）がもう少し近い関係で活動はできないものか？もっと、法人・企業にPRして求人の窓口になってほしい。
- (54) 可能ならば…、土曜も開けてほしいです。求人を出している側（施設等）の情報収集もしっかりお願いしたいです。（電話で確認してもらった際、すでに終了しているなどあったので…）

- (55) 福祉の仕事以外の一般職で、自分の希望に合った職場がもしあったら、連絡をもらったりすることは、やっぱりできないですね？福祉の仕事のみということですか？
- (56) 人材センターの名の通り、出向いても行かなくても求人先を時々送ってくださると助かります。（職業紹介）機器がなくてはネットも見れません。
- (57) 通勤可能な範囲の求人票を郵送してほしい。
- (58) もっと求人情報を送ってほしいです。
- (59) 母子家庭支援の求人がないので、できれば探してほしい。どんな仕事内容かを具体的に知りたい。事務職の求人もできれば多く探してほしい。
- (60) 出来るだけ沢山の情報提供を素早くお願いします。
- (61) 人材センターに登録していましたが、おかげさまで仕事が決まりました。情報をくださってありがとうございました。
- (62) 終了時間が夕方 6 時までだとありがたい。
- (63) 熱心な活動に感謝いたしております。企業と連携を図られ、人材育成の増進をますます期待しております。
- (64) ハローワークのみの就職活動をしていましたが、福祉人材センターを知り、これから情報収集など利用させて頂きたいと思っています。
- (65) 登録はしているのですが仕事が見つからず、月日ばかりが過ぎてしまい残念です。
- (66) 福祉のしごとガイダンスを月 1 回ぐらいに増やしてほしい。
- (67) なかなか就職もむずかしいこのごろですが、諦めないで頑張りますのでよろしくお願いします。
- (68) これからも宜しくお願いします。
- (69) 以前に希望していない求人票が送られてきたり、また、希望していた内容の求人があったのに送られてこない時があった。福祉人材センターの情報を職安にも公表するなど時代に合うような「福祉人材センター」をつくってほしいと思う。
- (70) 就職活動する人に対しては、ハローワークよりもとても親切だと思う。
- (71) 求人票送ってくださりありがとうございます。正職がありましたら連絡下さい。
- (72) 職員の方々がとても優しく、丁寧に話を聞いてくださると感じた。
- (73) 福祉分野の中で、事務職があればという形で登録しています。特に福祉分野にはこだわりはないのですが、福祉に限ってこういうセンターがあることで、将来的に広がりのある分野だと実感しました。
- (74) 自分の年齢でもいろいろ資格が取れるようにしてほしい。学校に行っていない人にも、平等に対応してほしい。
- (75) 毎回お世話になって感謝しています。
- (76) 求職紹介を本人が探してほしいと望むまでしてほしい。
- (77) どんな活動をしているのか知らない人も多いので、新聞・テレビなどを通じて、どんどん県民に知らせてほしい。情報を提供して、県民が利用しやすいセンターにして下さい。
- (78) これまで色々な求人票を郵送して下さり、とても感謝しております。

求職登録者に対する意識調査票

『基本的状況』 あなたの現在の状況についてお答えください。

【問 1】 性別について、該当する番号に○をつけてください。

1. 男 性 2. 女 性

【問 2】 年齢について、該当する番号に○をつけてください。

1. 20 歳未満 2. 20～29 歳 3. 30～39 歳 4. 40～49 歳
5. 50～59 歳 6. 60 歳以上

【問 3】 最終学歴について、該当する番号に○をつけてください。

1. 中 学 2. 高 校 3. 専門学校 4. 短期大学 5. 大 学
6. その他（ ）

【問 4】 現在の仕事状況について、該当する番号に○をつけてください。

1. 福祉分野に勤務 2. 福祉分野以外に勤務
3. 医療分野に勤務 4. 無職 5. 学生

【問 5】 福祉分野での勤務経験について、該当する番号に○をつけてください。

1. 勤務経験あり 2. 勤務経験なし

【問 6】 希望される仕事分野について、該当する番号に○をつけてください。

1. 老人福祉 2. 身体障害者福祉 3. 知的障害者福祉
4. 精神障害者福祉 5. 児童福祉 6. 社会福祉協議会
7. その他（ ）

【問 7】 希望される雇用形態について、該当する番号に○をつけてください。

1. 正規職員 2. 臨時・嘱託などの常勤の非正規職員
3. パートなどの非常勤職員 4. 正規が第一希望だが条件によって非正規でもよい
5. 雇用形態にはこだわらない 6. その他（ ）

【問 8】 福祉関連で取得している資格について、該当する番号全てに○をつけてください。

1. 介護福祉士
2. 社会福祉士
3. 精神保健福祉士
4. 保育士
5. 理学療法士
6. 作業療法士
7. 言語聴覚士
8. 介護支援専門員
9. 社会福祉主事任用資格
10. 児童指導員任用資格
11. ホームヘルパー1級
12. ホームヘルパー2級
13. 看護師
14. 准看護師
15. 管理栄養士
16. 栄養士
17. 調理師
18. 大型自動車運転免許
19. 特になし
20. その他（ ）

『福祉の仕事に対する考え方』

福祉の仕事に対する考え方を把握するためのものです。あなた自身の考えをお答えください。

【問 9】 福祉に興味を持ったのはいつ頃からですか。

1. 小学生の頃 2. 中学生の頃 3. 高校生の頃 4. 大学・短大・専門学生の頃
5. 社会人になってから 6. その他（ ）

【問 10】 福祉の仕事に就職したいと決心したのはいつ頃ですか。

1. 小学生の頃 2. 中学生の頃 3. 高校生の頃 4. 大学・短大・専門学生の頃
5. 社会人になってから 6. その他（ ）

【問 11】 福祉の仕事に興味を持つことになったきっかけは何ですか。

1. お年寄りや障害を持つ方が身近にいたこと
2. 自分自身が病気等の体験をしたこと
3. 福祉活動をしている家族や友人がいたこと
4. ボランティア活動に参加したこと
5. 学校での授業や講習会等で聞いたこと
6. 新聞やテレビ、雑誌等で見たり聞いたりしたこと
7. その他（ ）

【問 12】 福祉の仕事の印象について、下記の問いにお答えください。

〈1〉 他の仕事に比べて福祉の仕事の魅力は何ですか。

1. 他の仕事に比べ、仕事の内容に魅力がある
2. 他の仕事に比べ、給与・賃金に魅力がある
3. 他の仕事に比べ、労働環境（勤務時間や休日等）に魅力がある
4. 他の仕事との違いは感じない
5. わからない
6. その他（ ）

〈2〉 福祉の仕事とボランティア精神について、該当する番号に○をつけてください。

1. 仕事とはいえ、ボランティア精神が必要である
2. 福祉とはいえ、仕事として割りきるべきでボランティア精神は重要ではない
3. わからない

〈3〉 福祉の仕事と専門的知識・技術について、該当する番号に○をつけてください。

1. 専門的知識・技術が必要な仕事だと思う
2. 専門的知識・技術はそれほど無くてもできる仕事だと思う
3. わからない

〈4〉 福祉の職場の賃金の印象について、該当する番号に○をつけてください。

1. 非常に低いと思う 2. 比較的低いと思う 3. 普通だと思う
4. 比較的高いと思う 5. 非常に高いと思う

〈5〉 福祉の職場における職業の安定性について、該当する番号に○をつけてください。

1. 将来的に安定した仕事だと思う 2. 将来的に不安定な仕事だと思う
3. わからない

〈6〉 休日や時間外勤務等の労働環境について、該当する番号に○をつけてください。

1. 良い環境だと思う 2. 普通だと思う 3. 悪い環境だと思う

『就職活動に対する意識』

就職活動全般に関する質問です。あなた自身の考えをお答えください。

【問 13】 就職先を選ぶうえで、最優先にすることは何ですか。

1. 仕事の内容 2. 給与・賃金 3. 雇用形態（常勤・非常勤等）
4. 休暇・勤務形態 5. 地理的条件 6. 施設の評判 7. 研修・人材育成
8. 職場環境 9. その他（ ）

【問 14】 就職先を選ぶうえで、妥協できることは何ですか。

1. 仕事の内容 2. 給与・賃金 3. 雇用形態（常勤・非常勤等）
4. 休暇・勤務形態 5. 地理的条件 6. 施設の評判 7. 研修・人材育成
8. 職場環境 9. その他（ ）

【問 15】 自分を最も評価してもらいたいことは何ですか。

1. 福祉関係の技術・経験 2. 他分野での技術・経験 3. 人柄・性格
4. 熱意・やる気 5. その他（ ）

【問 16】 就職活動で困っていることは何ですか。＜該当する番号に3つまで○をつけてください。＞

1. 性別に制限がある
2. 年齢制限がある
3. 学歴により制限がある
4. 資格により制限がある
5. 希望に見合う賃金条件が少ない
6. 希望する雇用形態（常勤・非常勤等）が少ない
7. 雇用期間が定められている
8. 勤務先が地理的に遠いものが多い
9. 休日や勤務形態が希望に合わない
10. 資格の有無に関わらず福祉の経験が不足している
11. 公表されている求人数が少ない
12. 現在就業中のため就職活動する時間がない
13. その他（ ）

【問 17】 今後の福祉職場への就職に向け、取得したいと思う資格は何ですか。
 <該当する番号全てに○をつけてください。>

1. 介護福祉士 2. 社会福祉士 3. 精神保健福祉士 4. 保育士
5. 介護支援専門員 6. 社会福祉主事任用資格 7. 児童指導員任用資格
8. ホームヘルパー１級 9. ホームヘルパー２級
10. １～９以外の資格（ ）
11. 既に取得している資格を活かしたいため、特に新しい資格は目指していない
12. 取得している資格は特にないが、今後取得を目指す資格も特にない
13. その他（ ）

【問 18】 福祉職場へ就労後の継続性について、考えていることを選び、該当する番号に○をつけてください。

1. 定年まで（長期間）ひとつの法人で働きたい
2. ひとつの法人で働き続けることにはこだわらない
3. その他（ ）

『福祉人材センターの利用』

福祉人材センターに関することについて、あなたの考えをお答えください。

【問 19】 福祉人材センターを知ったきっかけは何ですか。

1. ポスター・リーフレットを見て
2. 新聞の広告記事を見て
3. 地元の社会福祉協議会の広報誌を見て
4. 家族・知人・友人の紹介
5. 公共職業安定所（ハローワーク）からの紹介
6. インターネットによる検索
7. その他（ ）

【問 20】 福祉人材センターのホームページについて、該当する番号ひとつに○をつけてください。

1. 常時閲覧している 2. 時々閲覧している 3. 全く閲覧したことがない

【問 21】 福祉人材センターを利用する以外に行っている就職活動について、
＜該当する番号全てに○をつけてください。＞

1. 公共職業安定所（ハローワーク）を利用している
2. 他の都道府県福祉人材センターを利用している
3. ハローワーク、福祉人材センター以外の有料・無料職業紹介事業所を利用している
4. インターネットにより情報収集している
5. 情報紙（市町村行政広報紙・新聞・折込広告等）により情報収集している
6. 電話や訪問にて直接問い合わせしている
7. 家族・知人・友人に依頼している
8. 他には特に利用していない
9. その他（ ）

福祉人材センターに対するご意見・ご要望等がありましたらご記入ください。



※ご協力ありがとうございました。